

招集期日	平成30年1月17日(水)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後1時30分	開会者	教育長
	閉会の時刻	午後2時40分	閉会者	教育長
委員出席状況				
氏名	摘要	氏名	摘要	
秋本文子教育長	出席	高瀬賢一委員	出席	
春山教子教育長職務代理者	出席	平野博之委員	出席	
柿沼拓弥委員	出席			
議事参与者及び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	小島学校給食センター所長
	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長	
書記名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開会	教育長	1月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件、その他の事件については、出席委員の3分の2以上の多数で可決した場合は公開しないことができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、すべて公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	12月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項1について、学校教育部長及び生涯学習部長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第 2 報告事項 1 平成 29 年 12 月 定例市 議会提出（教育委員 会関係）議案等につ いて</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>野中一城議員から、平成 29 年度羽生市一般会計補正予算のうち、教育支援員賃金の不足内容についての議案質疑があった。昨年度末、2 つの小学校の校長から、支援が必要な児童がおり、学習支援員を増やさなければ、担任 1 人では個に応じた対応が厳しいとの相談があった。その児童の状況を観察し、学習支援員の配置が必要と判断したため、予算編成の段階で予定していたのは 16 名であったが、年度当初に 2 名を増員した。その後も児童の様子を観察し続け、継続支援が必要であると判断したことにより、賃金が不足となり、補正予算の申請をしたことを説明した。</p> <p>中島直樹議員から、平成 29 年度羽生市一般会計補正予算のうち、井泉小学校、東中学校の校舎及び屋内運動場段差解消工事請負費についての議案質疑があった。平成 30 年度に、それぞれの学校に車いすを使用する児童生徒が入学するため、今年度中に段差解消工事を実施するものであり、両校とも電動の階段昇降機を設置する工事と、校舎と校舎を繋ぐ渡り廊下及び体育館の出入口の段差部分に、スロープを設置する工事であることを説明した。</p>
	<p>生涯学習部長</p>	<p>峯寄貴生議員から、スポーツ参画人口の拡大と環境の充実について一般質問があった。1 点目の「参画人口拡大と環境充実への見解と今後の対応」については、少子高齢化社会に伴う人口の減少に対し、より効果の高いスポーツ参画人口増加の取組みを発展させる必要があると認識しており、今後は国の基本計画や県が作成中である埼玉県スポーツ推進計画(第 2 期)などを参考にして、健康・体力や地域コミュニティの保持増進という観点を踏まえ、特色ある生涯スポーツ事業の充実を図ること、各種団体との連携を深め、地域の力をお借りしながら、より一層の環境整備に努める旨を答弁した。2 点目の「スポーツ少年団の団員数減少への見解と今後の対応」については、指導者や児童数の減少により、団員の確保が難しく、団の活動を継続していくことが困難となっている状況もあるが、県が取りまとめた平成 28 年度のスポーツ少年団の加入状況をみると、</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育部長	<p>羽生市の加入率 20.19%は、県内 63 自治体中 17 番目であり、県平均の 12.13%を上回っている。スポーツ少年団本部や各単位団では、団員確保のための取組において、工夫を凝らしてPR活動を行い、保護者の負担軽減に向けた働きかけも行っている。今後は指導者や保護者を対象に、課題の共有及び今後の方策について協議する場を設け、状況把握に努めるとともに、スポーツ少年団の魅力発信のための取組を充実させたい旨を答弁した。</p> <p>齊藤隆議員から、文化芸術の振興について一般質問があった。1 点目の「文化芸術基本法の第 4 条「地方公共団体の責務」および第 35 条「地方公共団体の施策」を具現化する方途として、地域の文化芸術の振興にどのように取組むのか」については、文化芸術基本法の基本理念を踏まえ、文化芸術活動を行う市民の自主性及び創造性を十分に尊重しつつ、市民が文化芸術活動をしやすい環境づくりにしっかり取り組んでいかなくてはならないと思っている旨を説明した。2 点目の「地方文化芸術推進基本計画」の策定については、文化芸術基本法の改正により規定された条文では「努めること」とされているが、地域の文化芸術の振興を強力に推進していくための根幹として必要だと考えており、文化芸術の振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、関連分野の範囲が広く、教育委員会だけではなく、他の行政機関、文化芸術活動団体、民間事業者、学校、地域等と、これまで以上の連携による取組が必要となるため、来年度より全庁的な策定検討委員会を立ち上げ、策定に向けて進めたい旨を答弁した。3 点目の「文化芸術推進会議の設置」については、計画を進めるうえでの「核」になる組織であるため、設置しなければならないと答弁した。4 点目の「羽生市文化芸術基本条例」の制定については、先進市のモデルを参考にしながら、条例の制定に向け研究していくこと、まずは地方文化芸術推進基本計画の策定から進める旨を答弁した。</p> <p>中島直樹議員から、「小学校の統廃合」について一般質問があった。1 点目の「平成 26 年 3 月から平成 29 年 9 月までの間、教育委員会において、小学校の統廃合について協議が行われたかどうか」については、総合教育会議と定例教育委員会の会議において、維持管理に多額の費用がかかるプール施設について、話し合った</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>ことを説明した。2点目の「統廃合に関する見解に変化があったのではないか」については、教育委員会制度改革や文部科学省による「学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」の発行等により、学校教育を取り巻く事情に様々な変化があり、これらを踏まえ検討してきた結果、現時点で早急に統廃合を進めることは難しいとの判断に至ったが、学校を現状のまま存続させるよう方向転換を図ったという事ではなく、現在の状況をしっかり把握し、統廃合を行う場合の準備や対策は何が必要なのかを、地域住民の御意見をうかがいながら研究・検討を継続している旨を説明した。島村勉議員から、「来年度から始まる道德の教科化」について一般質問があった。まず、羽生市では、文部科学省作成の教材「私たちの道德」を、すべての学校で確実に使用していることを説明した。質問の1点目の「羽生市の取組」については、道德教育総合支援事業、道德教育の抜本的改善・充実に係る支援事業の委託を受け、教員の道德教育に対する資質・能力の向上、並びに授業力の向上のために取り組んできたこと、また、来年度からの教科化に向けて、井泉小学校が埼玉県道德教育研究推進モデル校として先行実施したことを市内に広め、同校が作成した道德郷土教材集「みち」を各校に配付し、年間指導計画を作成することを目的とした、「教育課程検討委員会」を設置するなどの取組を進めていることを説明した。2点目の「目的、趣旨、背景、効果、問題点」については、いじめの問題が深刻な状況にあることで道德教育の重要性が改めて認識され、その抜本的な充実を図り教科化することが必要とされていること、また、充実した指導で確固たる成果を上げている学校が多くある中で、課題も指摘されており、道德が教科化される背景となったこと、子どもが命の尊さを知り、自己肯定感を高め、他者への理解や思いやり、規範意識、自主性や責任感などの人間性・社会性を育むことが目的であること、趣旨としては、道德の特性を踏まえた新たな枠組みを教科化し、指導内容を充実し、効果的な指導方法を明確化することであること、教科化による効果としては、児童がいじめ問題等、現実の困難な問題に主体的に対処することのできる実効性ある力を育成していく上で、道德教育は大きな役割を果たすと考えていること、問題点としては、道德教育の充実を図るために、適切な評価のあり方について改善を図る必要があることを答弁した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成29年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について (7月～12月分)</p> <p>報告事項3 平成29年度羽生市教育研究大会の開催について</p>	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育部長</p>	<p>丑久保恒行議員から、「市内小学校のグラウンド整備」について一般質問があった。1点目の「整備の現状」については、現在の校舎を建設後すぐに、校庭整備工事が実施され、全校にスプリンクラーが設置されていること、特に水はけが悪かった2つの小学校は、2回目の校庭整備工事を実施し、他の学校は各校工夫して校庭を維持管理している状況であることを説明した。2点目の「今後の整備計画」については、現在は校舎と体育館の長寿命化を図ることに重点を置いた整備を進めており、グラウンドの具体的な整備計画は定まっていないが、各校の意見を伺い、不具合等の状況把握に努め、防砂ネットの設置を計画的に進めたり、校庭外周の排水溝を清掃したり、スプリンクラーの点検・修繕を行う等、適切な校庭の維持管理を継続していくと答弁した。</p> <p>報告事項2について、教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>後援名義の使用については、教育総務課で2件、学校教育課で5件、生涯学習課で11件、スポーツ振興課で4件、合計22件の申請を受け付け、全て承認した。共催名義の使用は、生涯学習課で1件の申請を受け付け、承認した。協賛名義の使用及び推薦名義の使用は、申請がなかった。教育長賞の交付については、教育総務課で2件、生涯学習課で1件、合計3件の申請を受け付け、全て承認した。</p> <p>報告事項3から5について、学校教育部長から説明を求めた。</p> <p>2月21日に、産業文化ホールにて開催する。冒頭にアトラクションとして、第1回全国プレゼンテーションコンクール in 羽生の優秀校による発表がある。大会の内容としては、小林秀三教育賞受賞者の表彰、3校の学校研究の発表の後、文部科学省の教育課程課より講師を招き、講演を予定している。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 小・中学校における2学期の表彰の結果について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>小中学校を通じて絵画関係、また中学校の新人体育大会の表彰が多くあった。特に上位の表彰をあげると、羽生北小学校では、「私たちの自然を守ろう」コンクール作文部門で1年生の児童が公益財団法人埼玉県生態系保護協会会長賞、JA 共済小・中学生書道コンクールで6年生の児童が FM NACK5 賞、1年生の児童が埼玉新聞社賞を受賞した。新郷第二小学校では、県民の日記念絵画コンクールで5年生の児童が知事賞、埼玉県児童・生徒発明創意くふう展で5年生の児童が埼玉県小学校家庭科教育研究会会長賞を受賞した。手子林小学校では、埼玉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールで3年生の児童が会長賞を受賞した。羽生南小学校では、「郷土を描く児童生徒美術展」で4年生の児童が埼玉県知事賞、薬物乱用防止啓発ポスターコンクールで6年生の児童が埼玉県薬剤師会長賞、「WE LOVE トンボ」絵画コンクールで3年生の児童が環境大臣賞、埼玉県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールで3年生と5年生の児童が会長賞を受賞した。西中学校では、県中体連野球専門部、強化指定選手に2年生の生徒が選ばれた他、JA 共済小・中学生書道コンクールで3年生の生徒が日本農業新聞賞、埼玉県児童・生徒発明創意くふう展で3年生の生徒が埼玉県中小企業団体中央会会長賞を受賞した。南中学校では、埼玉県中学校新人体育大会の女子走り幅跳びで2年生の生徒が8位、埼玉県駅伝競走大会の女子の部で8位に入賞し、埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクールで1年生の生徒が会長賞を受賞した。東中学校では、埼玉県中学校新人体育大会の女子100mで1年生の生徒が第2位、卓球女子ダブルスで第1位、関東中学校陸上競技大会の女子100mで1年生の生徒が第5位に入賞し、献血推進ポスターコンクールで2年生の生徒2名が埼玉県赤十字血液センター所長賞、「県民の日」記念絵画コンクールで2年生の生徒が知事賞を受賞した。</p>
<p>報告事項5 平成29年度羽生市小林秀三教育賞受賞者について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>受賞した手子林小学校の教諭は、特別支援学級の担任として児童生徒の個性を良く把握し、指導、支援を行っている他、特別支援コーディネーターとして、関係機関との連携、調整に努めるとともに、発達障害の児童への対応について、支援の仕方を他の学級担任等に示し、アドバイスをするなどしている。羽生南小学校の教諭は、学校図書館を円滑に運営するための学校司書との協力</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 平成29年度羽生市学校給食センター給食試食会の結果について</p> <p>報告事項7 高校生インストラクター講座「JKショコラ食べたくない?～バレンタインデーの前に!!～」の開催について</p>	教育長	<p>体制の整備を推進している。特に「家読」の推奨や読書郵便の実施、ビブリオバトルの導入、読書感想画の導入等、学校全体で読書活動を展開するための中心となっている。西中学校の教諭は、3年生の担任として、生徒一人一人との良好なコミュニケーションを保ち、個に応じたきめ細やかな指導をしている。保健体育の指導に関しても、専門的知識や技能を十分に生かした指導をしており、女子テニス部顧問としても、技能の向上を図るとともに、礼儀を重んじる指導を行っている。東中学校の教諭は、国語科の教員として、学習規律を徹底させ、生活に生きてはたらく言語能力を育成する国語指導を行っている。また、司書教諭としての活動、情報機器等の活用、道徳教育においても他の教員の模範となっている。吹奏楽部の顧問としても熱心に活動しており、地域の福祉施設や小学校等にも出かけ、その演奏が好評を得ている。以上4名が受賞した。</p> <p>報告事項6について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
	給食センター所長	<p>平成29年5月25日から12月14日までの期間で7回開催し、参加者の合計は86名、一般の市民、栄養士と情報交換を希望する保護者の他、食材の生産者の参加もあった。アンケートを実施したところ、「自分の目、口で給食の調理場を確認し、安心、安全を再確認する機会となった」、「試食会に参加したことで、子どもと話題を共有できる」等の意見をいただいた。</p>
	教育長	<p>報告事項7から12について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>2月3日に、羽生第一高校にて開催する。同校の家庭部生徒17名を講師として、バレンタインフォンダンショコラケーキを作る。参加対象は、小学生と保護者、募集人数は16人、参加費は1組600円となっている。広報に掲載し、平成29年12月15日から12月28日の期間で電話受付を行った結果、13組の申込があった。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項8 「羽生学講座Ⅶ」の 結果について	生涯学習課長	<p>平成29年9月9日、9月30日、10月21日、11月18日の4回、羽生市民プラザにて開催した。講義の内容は、第1回は埼玉県立文書館長 杉山正司氏による「近世の埼玉における交通」、第2回は行田市郷土博物館、澤村怜薫氏による「日光脇往還についてー忍藩領を縦断するみちー」、第3回は春日部市郷土資料館長 実松幸男氏による「交通と関所ー埼玉県内を事例としてー」、第4回は公益社団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 栗岡潤氏による「栗橋宿の発掘調査ー栗橋宿西本陣跡の発掘調査ー」であった。受講人数は19名、4日間で延べ60名の参加であった。受講生は羽生市の歴史や文化財に興味を持ち、日頃から研究されている方が多く、集中して講義を受けていた。当初は第5回の開催を予定していたが講師の体調不良により中止になってしまったことが残念であった。</p>
報告事項9 第34回「彩の国21世紀郷土かるた」羽生市大会の結果について	生涯学習課長	<p>平成29年12月2日に、羽生市民プラザにて開催した。参加者は、団体戦が20チーム70人、個人戦が20人、合計90人であった。大会成績は、団体の部で須影Cチームが5連覇となる優勝、新郷第二Aチームが準優勝、個人の部では、新郷第二Aチームの選手が前回に続く優勝、井泉Dチームの選手が準優勝となり、それぞれ3月11日に深谷市のビッグタートルで開催される県大会へ出場する。今後も子どもたちにとって、ふるさとの文化に触れ親しみながら他校の友達とも交流ができる場であり続けられるよう、継続して開催していきたい。</p>
報告事項10 平成29年度（第7期）子ども大学はにゅうの結果について	生涯学習課長	<p>平成29年9月16日から12月9日までの期間で計4回の講義を実施した。会場は第3回を羽生山建福寺、その他の回を埼玉純真短期大学とし、参加者は、小学校4年生から6年生の23名であった。昨年度に引き続き、受付や授業等を手伝ってくれるサポーターとして、子ども大学卒業生である10名の中学生や高校生が参加した。2日目の2時限目、「いろんなリズムで音楽世界旅行」は、音楽と映像をリンクさせた面白い授業であった。3日目の、「はにゅうの文化と歴史を知ろう④」は、座禅をしたり、田舎教師について学んだりしたが、特に、物事は視点を変えて色々な角度から</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項11 高校生インストラクター講座「秋の素材を使ったクリスマスリース作り」の結果について</p>	生涯学習課長	<p>見たり、考えたりしましょうという話が印象的であった。アンケートを実施したところ、満足度が非常に高く、参加型、体験型の学習を多く設け、異文化交流の講義を取り入れたことがこの結果に繋がったものとする。</p> <p>平成29年12月16日に、羽生実業高校にて開催した。同校の園芸科の生徒2名を講師として、松ぼっくりなど、様々な木の実やドライフラワーをリースに貼付け、クリスマスリースを作った。参加対象者は、市内在住、在勤、在学者で、10名の申し込みがあった。受講生の満足度は非常に高く、今後の趣味に活かしたいという声もあった。また、作品を見せ合うなど参加者同士の交流も垣間見られた。講師となった高校生は、初めての経験ながら、受講生に対し面倒見良く熱心に指導してくれて、後日行った、本講座を振り返った反省会議でも、地域や市民と関わる貴重な経験に満足感や達成感を覚えた様子であった。</p>
<p>報告事項12 平成30年羽生市成人式の結果について</p>	生涯学習課長	<p>1月7日に、羽生市産業文化ホールにて開催した。9時30分より受付を開始し、オープニング、式典、記念行事、記念撮影と順調に進行し、正午には終了となった。3中学校の卒業生4名ずつ、計12名の実行委員と、来年成人式を迎える年代から各中学校2名ずつ、計6名の準備委員とで式を運営した。該当者611名のうち、464名の新成人が参加し、参加率は75.94%であった。準備段階では何度も打合せ会議やデータのやりとりを行い、実行委員、市職員も大変苦勞したが、今年も騒いだりする者が一人も居らず、落ち着いた雰囲気の中で良い成人式ができたと思う。</p>
<p>報告事項13 第33回羽生市綱引選手権大会の結果について</p>	教育長	<p>報告事項13について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>平成29年12月10日に、羽生市体育館にて開催した。一般男子の部10チーム、一般女子の部9チーム、小学生の部16チーム、合計で35チーム、343名の参加があった。午前中に予選リーグ、</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項14 企画展Ⅱ「第5回社寺 宝物展 おらがむら のお宝ー村君の人々 のおもい、いのりー」 の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p> <p>教育長</p> <p>春山委員</p> <p>学校教育部長</p>	<p>午後に決勝トーナメントを行い、3部門とも前回優勝チームが再度優勝を勝ち取った。その他、監督賞や敢闘賞、ねばり賞など各賞を用意した。コスチュームに力を入れたチーム、熱心に応援するチームも増えて、チームの連携感を感じさせ、会場が一体となって盛り上がった。</p> <p>報告事項14について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p> <p>平成29年10月28日から12月3日までの31日間、展示を行った。入館者数は1,145名、1日平均37名であった。開催期間中に展示解説会を2回行い、11月5日は10名、19日は20名の参加があった。今回は、村君地区にある永明寺、延命寺、惣徳院、不動院、御廟堂の各社寺に協力いただき、市の指定文化財をはじめ仏像、掛軸等を展示した。展示解説会では、下村君出身の尾上朝運という彫刻家の彫った仏像に焦点をあて、説明を行った。過去4回宝物展を行ってきたが、地域に残された歴史的な文化遺産はまだ多くあるので、今後も定期的に宝物展を開催したい。</p> <p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p> <p>市議会での中島議員の一般質問の意図について再度説明をお願いしたい。</p> <p>学校の統廃合については過去の市議会でも何度か質問があったが、以前は、積極的に統廃合に取り組むという答弁であった。しかし、昨年9月の定例市議会でも同議員が、このことについて質問した際、学校は地域コミュニティの核となる施設であるため、学校自体の統廃合を早急に進めることは難しく、まずはプールの共用化等を考えていく旨を答弁したことに関し、統廃合に対する考え方が後退してしまったのではないか、という指摘であった。</p>

会議事件名	て ん 末	
	春山委員	<p>同じく市議会で齊藤議員が質問した文化芸術の振興について、地方文化芸術推進基本計画を検討するとのことであったが、この計画で推進するものとは、羽生市独自の文化や芸術を指しているのか。</p>
	生涯学習課長	<p>文化芸術基本法の改正により、努力義務とされた地方文化芸術推進基本計画については、埼玉県内では5自治体が既に策定している。文化・芸術には地域性があるため、羽生市固有の文化財や郷土芸能などを盛り込み、策定すべき計画である。</p>
	教育長	<p>地方文化芸術推進基本計画の策定は努力義務であるが、羽生は積極的に策定に向けて進めて行く。しかし、文化芸術の振興のみならず、観光、まちづくり、国際交流、福祉等と関連して研究することとなるため、計画をすぐに策定することは難しい。羽生市独自の特色ある計画とするため、来年度から関係する各機関と連携して、全庁的な検討委員会を立ち上げて計画を作っていくこととなる。</p>
	柿沼委員	<p>成人式については、参加率が年々増えており、良いことであると思った。実行委員による運営についても、緊張しつつもスムーズに進行していたのが印象的であった。東京都23区内では、8人に1人が留学生等の外国人であると聞いたが、羽生市では外国人の参加はあったか。</p>
	生涯学習課長	<p>市内の外国人の該当者は16名であり、そのうち3名が成人式に参加した。</p>
	教育長	<p>今年の新成人達は、各学校で羽生市民憲章を積極的に色々な場面で唱えることを始めた頃の子どもたちだと記憶している。成人式での羽生市民憲章も、抵抗なく唱和できているように見受けられ、大変立派であった。</p>
	平野委員	<p>市議会でのスポーツ参画人口について一般質問があったが、スポーツ少年団では、地域の人達が指導者となって活動しているという認識で良いか。スポーツ少年団には、学校の先生は直接関係</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="480 479 596 508">スポーツ振興課長</p> <p data-bbox="480 954 596 983">高瀬委員</p> <p data-bbox="480 1099 596 1128">学校教育部長</p> <p data-bbox="480 1386 596 1415">高瀬委員</p> <p data-bbox="480 1482 596 1512">春山委員</p>	<p data-bbox="624 286 1445 412">していないということによろしいか。また、スポーツ少年団の活動趣旨は、スポーツを楽しむこと、技能の向上等、どのようなことに重きを置いたものであるか。</p> <p data-bbox="624 479 1445 891">基本的に参加している子どもの保護者が指導者を務めているが、子どもが小学校を卒業しても継続して活動している方もいる。地域での活動であるため、教職員の関わりはない。また、活動趣旨については、競技性も重視するが、度が過ぎた厳しい指導になってしまうことも危惧されている。あくまで子どもの成長過程の中で運動に取り組み、上下関係、社会性等を養いながら、競技を通して人間性を育んでいくことが目的である。また、スポーツ少年団本部では、指導者養成研修会等を通じ、指導者の資質向上にも努めている。</p> <p data-bbox="624 958 1445 1034">市議会で小学校の統廃合について質問した中島議員は、統廃合を推進すべきという考え方か。</p> <p data-bbox="624 1102 1445 1326">統廃合の推進という事を名言はしていないが、市の財政が非常に厳しい状況下において学校の施設をこのまま維持していくことは、なかなか難しいのではないか。特に小学校においては、子どもが減っている状況を地域の住民に対し、今後数年間の推計も含めて公表したほうが良いのではないかということも言っている。</p> <p data-bbox="647 1393 1398 1422">是非、地域住民の意見をよく聞いて研究していただきたい。</p> <p data-bbox="624 1489 1445 1901">高校生インストラクターの講座については、市内の高校生が地域社会に積極的に参画することは、とても意義があると思う。今後是非、小・中・高の連携も盛んにしていただきたい。また、子ども大学はにゅうにおいても、青年会議所等の組織が子ども達のために講座を開いてくれることは、素晴らしいことだと思う。子ども達にとって、学校以外でも地域からたくさんのお話を学ぶことができ、良い事業だと思う。今回は23名が参加したとのことであり、より多くの子どもたちに参加していただきたいと思うが、参加者の募集は、どのような方法で行っているか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>子ども大学はにゅうの募集は、広報誌だけでなく、各小学校を通じて、案内している。市内の小学生は全員、子ども大学はにゅうという事業があることは知っているが、開催が土曜日であり、塾やスポーツ少年団等の予定と重なり、参加が難しい子どももいるようである。</p>
	春山委員	<p>学校の統廃合についてであるが、例えば、小中一貫の教育等、これからの方向性について、色々な選択肢があると思う。教育委員会としても、是非、研究していきたい。</p>
	学校教育部長	<p>学校の施設を維持していくのにどのくらい費用がかかるか。改修するには工事費がどのくらいかかるか。また、小中一貫校を作るための費用や、プールを複数校で使用する場合の移動の費用であるとか、様々なお金の問題が生じてくると思う。今後の児童生徒数の推移、地域住民の意見や心情等、これらを総合して、どれが一番良い方法なのか、委員各位の意見も伺いながら、教育委員会事務局としても検討していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p>
	教育総務課長	<p>2月定例教育委員会は、2月20日 午後1時より教育委員室にて開催する。</p>
	教育長	<p>閉会を宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p data-bbox="651 383 1158 416">教育長 _____</p> <p data-bbox="651 479 1158 512">委 員 _____</p> <p data-bbox="651 575 1158 609">委 員 _____</p> <p data-bbox="651 672 1158 705">書 記 _____</p>